



令和3年度 越前市武生第五中学校スクールプラン

学校教育目標 豊かな心とたくましい体をそなえ、自ら学ぶ生徒を育てる。

めざす教職員像

- ・プロとしての使命感をもつ
- ・生徒の心に寄り添う
- ・県教育育成指標に基づく力量形成

学校経営方針 めざす生徒像

学校と家庭・地域が一体となった、活気あふれる学校づくりに努める。

- ◆心豊かでたくましい生徒
- ◆主体的に学ぶ生徒
- ◆ふるさとを愛する生徒
- ・互いを認め、思いやりの心
- ・学習に対する意欲
- ・ふるさとへの誇りと愛着
- ・心身の健康と体力向上
- ・目的と相手を意識した伝える力
- ・感謝と奉仕の精神

地域の願い

- ・心豊かになる
- ・ふるさとを愛し地域に貢献する

【重点目標】

所属の喜びのある学校 ～高め合う集団の育成～

- (1) 社会で生かせる実践力の養成
- (2) 自己有用感の向上
- (3) 学校文化の継承と発展

学ぶ喜びのある学校 ～確かな学力の育成～

- (1) 基礎・基本の確実な習得と定着
- (2) 主体的・協働的な学習態度の育成
- (3) 思考力・活用力・表現力の向上

安心して成長できる学校 ～健やかな心身の育成～

- (1) 道徳教育の充実
- (2) 教育相談体制の充実
- (3) 家庭と連携した基本的生活習慣の確立

家庭・地域と連携・協働して 生徒を育てる学校

- (1) 地域と協働する活動の充実
- (2) 学校の情報の積極的な発信
- (3) 地域の未来を考える活動の推進

【具体的な取組】

- あいさつ、時間を守る、物を大切にするなど、社会で生かせる実践力を伸ばす。
- 生徒自らが考え、協働する自治的な活動の場を充実させる。
- 縦割り活動や地域と関わる活動を通して、人と関わる力を育てる。

- 「わかった」「できた」と実感できる授業づくりを推進する。
- 話し合いがたいくする課題を設定し、お互いの意見を交流させて考えを深めることができる授業を展開する。
- SDGsに関する内容を核に、様々な場面でNIEを展開する。それを通して、情報活用能力や他者に伝える力を養う。
- 生徒がタブレットを活用する授業を推進し、実践の成果と課題などを教員間で共有する。

- 「考え、議論する道徳」の授業づくりを進める。
- 教育相談を充実させ、支援を要する生徒にチームとして対応する。
- 保護者と連携して、インターネットの適正利用を促す。
- 家庭と連携して、3点固定（起床・家庭学習・就寝）、朝食などの生活習慣を確立させる。
- 感染防止について、生徒自身が考え行動できるような取組を展開する。

- スイカ栽培や環境学習などの体験学習を通して、ふるさとの良さを知り、ふるさとの未来を考える生徒を育成する。
- 地域の課題改善につながる活動を企画・実践させ、活動の効果を生徒が実感できる機会を設ける。
- 積極的なホームページの更新や定期的なお便りを通じて学校の様子を広報する。
- 学校行事の運営に保護者や地域の方の支援をいただく機会を増やす。

【数値目標】

- ・「生徒の心得」を守ることができたと答える生徒95%以上。
- ・生徒会活動や学校行事に協力して取り組み、自分の役割を果たすことができたと答える生徒95%以上。
- ・みんなで何かをするのは楽しいと答える生徒90%以上。

- ・授業がよくわかると答える生徒80%以上。
- ・グループ学習や課題解決型学習で、自分の考えを発表することができた生徒90%以上。
- ・新聞に親しむようになったと答える生徒80%以上。

- ・食事、睡眠、運動に気をつけて体調維持を心がけている生徒80%以上。
- ・教員などに、悩み事や気がかりなことを相談することができる生徒85%以上。
- ・五中インターネットルールを守ったと答える生徒90%以上。

- ・地域のためにできることを考えたり行動したりすることができたと答える生徒90%以上。
- ・ホームページやお便りで学校の様子がよくわかったと答える保護者95%以上。

【業務改善の具体的な取組】 ○部活動指導の協力・分担や教育課程の見直し等により効果的な教育活動を行う。→ 月間の時間外在校等時間が80hを超える教員ゼロ